



2023年6月30日

各位

会社名 株式会社 fonfun
代表者名 代表取締役社長 水口 翼
(コード番号:2323 東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営管理部部長 八田 修三
(TEL:03-5365-1511)

上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況

当社は、2021年12月15日に、「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を提出し、その内容について開示しております。

2023年3月31日基準日時点における計画の進捗状況等について、下記の通り作成しましたので、お知らせいたします。

記

○ 当社の上場維持基準の適合状況の推移及び計画期間

当社の2023年3月31日基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、下表のとおりとなっており、基準日を経過していることから適合判定の審査依頼を行った結果、東京証券取引所より「適合状況通知」があり、流通株式時価総額基準につきましては、基準日時点においても基準を満たしていません。下表のとおり、流通株式時価総額基準に関しては2025年3月末までに上場維持基準を満たすために、引き続き各種取り組みを進めてまいります。

		株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の 適合状況 及び その推移	2023年3月末 時点	1,638	12,239	4.1	36.2
	2021年6月末 時点	1,677	13,875	7.1	41.0
上場維持基準		400	2,000	10.0	25
計画期間				2025年3月末まで	

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

○ 上場維持基準への適合に向けた取り組みの実施状況及び評価(2021年12月～2023年3月)

(1) 流通株式時価総額について

- ・中期経営計画の2023年3月期予算にくらべ、売上高で1千8百万円、営業利益において約1千万円上回っており、営業利益目標について順調に進捗しております。これは、SMS事業において、拡販対象の業種を絞ることにより、営業効率が高まった結果と考えております。

- ・2022年11月にSMS事業において事業譲受を実施しており、M&Aによる事業規模拡大を実現しております。
- ・一方、IR強化及び個人株主の増加については、ほぼ進捗がなく、今後の課題となっております。

○上場維持基準に適合していない項目ごとのこれまでの状況を踏まえた今後の課題と取り組み内容

(1) 流通株式時価総額について

- ・当社の流通株式比率は2023年3月31日基準日時点で36.2%であり、スタンダード市場の上場維持基準を充足しておりますが、流通株式時価総額の上場維持基準に適合しておりません。当社株式の株価及び流動性をさらに向上させることが引き続き課題と考えており、内部的成長、提携やM&Aによる成長、その成長を財務的に支える新株予約権発行、IR活動の強化といった2021年12月に策定した中期経営計画の方針に沿った、以下のような取り組みを実施いたします。

なお、2023年6月28日付「サイブリッジ合同会社による当社株式に対する公開買付けの結果並びに親会社及びその他の関係会社、主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、サイブリッジ合同会社が所有する当社株式の割合が、特別関係者であるサイブリッジコーポレーション株式会社の所有する株式と合算して65.47%となり、安定的に上場維持基準へ適合するためには、株価1,000円程度を維持する必要があると考えております。これを実現するために中期経営計画を早急にブラッシュアップし、SMS事業を中心とした既存事業を伸ばすとともに、M&Aを含む成長事業への投資のための資金を調達しながら、サイブリッジグループの一員として得られるシナジーを活かしてお客様のDX化を推進し、企業価値を上げてまいります。

【2025年中期経営計画の概要】

〔VISION〕

- ・ SMS配信領域における中小企業シェアNo.1(首都圏)の獲得
- ・ 中小企業における手厚いサポート提供の実現

〔数値計画〕

- ・ 売上 11.0億円
- ・ 営業利益 2.2億円(営業利益率20%)
- ・ ROE 10%以上

【中期経営計画における5つの戦略の柱について】

1. 顧客戦略
 - ターゲットを中小企業に特化し、ニッチシェアNO.1を狙う
2. 商品戦略
 - 成長性及び利益率も高い、SMS事業に選択と集中、手厚いサービスで差別化
3. 提携、M&A戦略
 - ターゲット業界に多くのアクセスを持つ会社との提携(顧客戦略との整合)
 - 当社製品との相性のよいサービスを持つ会社との提携(商品戦略との整合)
 - 上記提携先の中で相性がよく、買収チャンスがあれば買収交渉
4. 財務戦略
 - 増資、借入、内部留保等を実施し、10億円を調達
5. IR戦略
 - 中期経営計画の進捗状況を四半期ごとに決算説明資料として開示
 - 社長より動画で個人投資家向けにわかりやすく説明
 - 認知度向上のためHPの情報充実、情報番組等への出演

以上